

# 日本語モダリティと中国語モダリティの対照研究

人間文化学部 国際コミュニケーション学科 教授 吳 凌非

研究分野 : 言語学、言語処理

## ■研究課題（研究概要）

言語処理の視点からは、文（sentence）は客観事実を表す部分（命題）とその客観事実を伝える際に話者が加えた付加情報の部分（モダリティ）から成り立っている。命題については日本語及び中国語から大量の言語データをもとにその意味を記述する意味構造を明らかにする。モダリティについては、まず分類を行い、日本語モダリティと中国語モダリティの対照研究を行う。

近年は、中国語動詞の分類や否定表現、そしてデジタル文法論に重点を置き、研究を行っている。

## 研究業績等（概要）

### 論文

1988. 10 ECAT-P英中自動翻訳システム 『情報科学』

2002. 10 「動詞の周期性及びその周辺」 『現代中国語研究』

ほか27篇

### 学会発表：

2007. 10. 28. 「動詞の周期から見る了1と了2」 日本中国語学会

ほか9編

### 国際学会発表

2014. 7. 10 A Description of the Chinese Character-based Grammar

The 12th BCLTS international conference on teaching & learning Chinese

Regent's University London, Regent's Park campus

ほか9編

### 著書

1999. 4 「中国語を楽しもう」 吳凌非 郁文堂

2000. 12 「日本語の語彙・文法」 共著、くろしお出版

2004. 1 「大学生のための基礎中国語」 吳凌非 郁文堂

2010. 4 「ジョイフル中国語」 吳凌非 郁文堂

2012. 4 「ジョイフル中国語」 初級編 吳凌非 郁文堂

### 翻訳

1993. 4 Situational Functional Japanese Vol. I. II. III. 吳凌非 筑波大学ランゲージグループ